

家でもなく、仕事場でもない。その中間にあって、個人として多種多様な人と交流をより活力のある「自分」を取り戻す空間としてのコミュニケーションカフェは、都市社会学において

「第三の場 -サードプレイス- 」という名で、

その機能や役割に新たな光が当てられている。

そこで人は、家からも職場からも解放されて、「個人」であることができ、人との新しいつながりから新しい社会へのかかわり方を見つけることができる。
さらにそこは、新たな教育の場ともなりうるかもしれない。

本ワークショップではカフェを舞台にそのコミュニケーションをアクティヴェイトする触媒として「本」を軸に、様々なコミュニケーションの組み合わせによる創発の可能性をどうデザインするかをサービスデザインの観点で考える。

FBL (Field-Based Learning) として具体的なフィールドを「グランフロント大阪 ナレッジキャピタルCAFE Lab.」で実際に体験・経験することによって、より深く問題を発見し具体的なサービスデザインを実行する。

